

岩木さんはなぜ移住者受入れに熱心なのか？

移住・定住
支援情報

青大新聞

Vol.35



西九州自動車道の建設現場には田代地区の広告を掲示している。



「移住者の選択肢として提示できれば」と、自宅のログハウスを自ら建設中。



景観を保つために、42戸の地区住民で年6回集まり整備。

「西九州自動車道が完成すれば、福岡のベッドタウンにもなりうる。今後は農業の後継者を獲得し、民泊体験や、あたたかな心の交流を守り継ぎたい。」岩木さんの思いは地区を越えて広がり、田代ファンや移住者を少しずつ増やしています。

田代地区住民の平均年齢は62才。岩木さんは「限界集落になってからでは遅い。地区で年に1組の移住者を獲得できれば地区が維持できる。みんなの体が動くうちに。」と、最近ではコロナ禍の影響を考え、地区のホームページを作り替えているそうです。

地区の行事や景観、心の交流を守るために。

農家の仕事も忙しい中で、なぜそのような活動を熱心に行っているのかお話を伺いました。

田代地区グリーン・ツーリズム研究会代表で、まつうら党交流公社理事、中山間地域の集落代表、ながさき移住コンシェルジュを務める岩木さん。令和6年に田代地区が限界集落となることに危機感を持ち、移住促進の取り組みをスタート。情報発信、住まいの仲介、地区に馴染むサポートなどを行っています。

7年前から地区の移住促進活動をやっています。



岩木保徳さん。57歳。花専科代表。田代地区HP▶ごちそう山たしる.jp



松浦市 大人の学び場 青の大学

政策企画課 ふるさと納税・魅力発信室 ☎0956-72-1111

松高だより

■県高校駅伝～区間新を含む3つの区間賞をマーク！～

11月6日、雲仙小浜マラソンコースで県高校駅伝競争大会が開催され、本校陸上競技部が3連覇（通算4回目の優勝）を目指して出場しました。レースは序盤から先行される展開で、最終結果は鎮西学院高校に次ぐ2位でしたが、6区・山本羅生さん（3年・日宇中学校出身）の区間新記録をはじめ、3つの区間で区間賞をマークして上位に食らいつき、前年度覇者の意地を見せてくれました。

主将の西村幸樹さん（3年・川棚中学校出身）は「優勝を逃してしまい、とても悔しいです。来年は必ず優勝できるよう、後輩達には頑張ってもらいたいと思います」と語りました。



■プレまつナビバスツアー

11月17日、まつナビ・プロジェクトの一環として、「プレまつナビバスツアー」を行いました。

1年生が「島」「陸」「水」「街」の4つのコースに分かれて、松浦市内の名所・旧跡・施設などを見学し、松浦についての基礎知識や興味・関心を深めました。

池田朱里さん（御厨中学校出身）は、「今回学んだことを、来年のまつナビに活かしていきます」と語りました。

